

景気動向調査報告書

平成31年4月末調査

この調査は、岡谷市の基幹産業である製造6業種（精密、機械、電気、計量、表面処理、鋳造）の企業の皆様のご協力により、今期（平成31年4月末）を基準とした業況等についてまとめた報告書です。

岡谷市産業振興部工業振興課・岡谷商工会議所

- 調査実施期間

前年同期	前 期	今 期	来 期
平成30年4月	平成30年10月	平成31年4月	令和元年10月

- 調査業種及び調査企業

(件数)

調査業種	精密	機械	電気	計量	表面処理	鋳造	合計
調査企業数	41	26	10	7	11	5	100
回答企業数	31	24	6	7	10	4	82

- 従業員数

人数	1～9人	10～19人	20～29人	30～39人	40～49人	50～99人	100人～	合計
企業数	21社 (26.3%)	9社 (11.2%)	10社 (12.5%)	8社 (10.0%)	8社 (10.0%)	16社 (20.0%)	8社 (10.0%)	80社 (100%)

(※2社無回答)

調査結果のポイント

○生産額、受注額などの減少が見られる一方、原材料仕入価格は落ち着きを見せ、製品単価への転嫁も見られないことから、生産量・受注量などの落ち込みにより、全体の指標となる業況DIのマイナス幅が拡大したと考えられます。

○経営上の問題点として、「人手不足・求人難」との回答が最も多く、ここ数年の有効求人倍率は高水準を保っているなか、不足期間は「1年未満」と回答した企業が最も多いため、ここ1年未満は有効求人倍率には表れない要因による人手不足が課題になってきていると考えられます。

○業況DI等が大幅なマイナス水準のなか、設備投資への意欲は依然として高く、人手不足などに対応するための設備投資のほか、設備の狭小・老朽化等への対策が優先課題とされている傾向が強くなっています。

《平成31年4月末の岡谷市の景気動向》

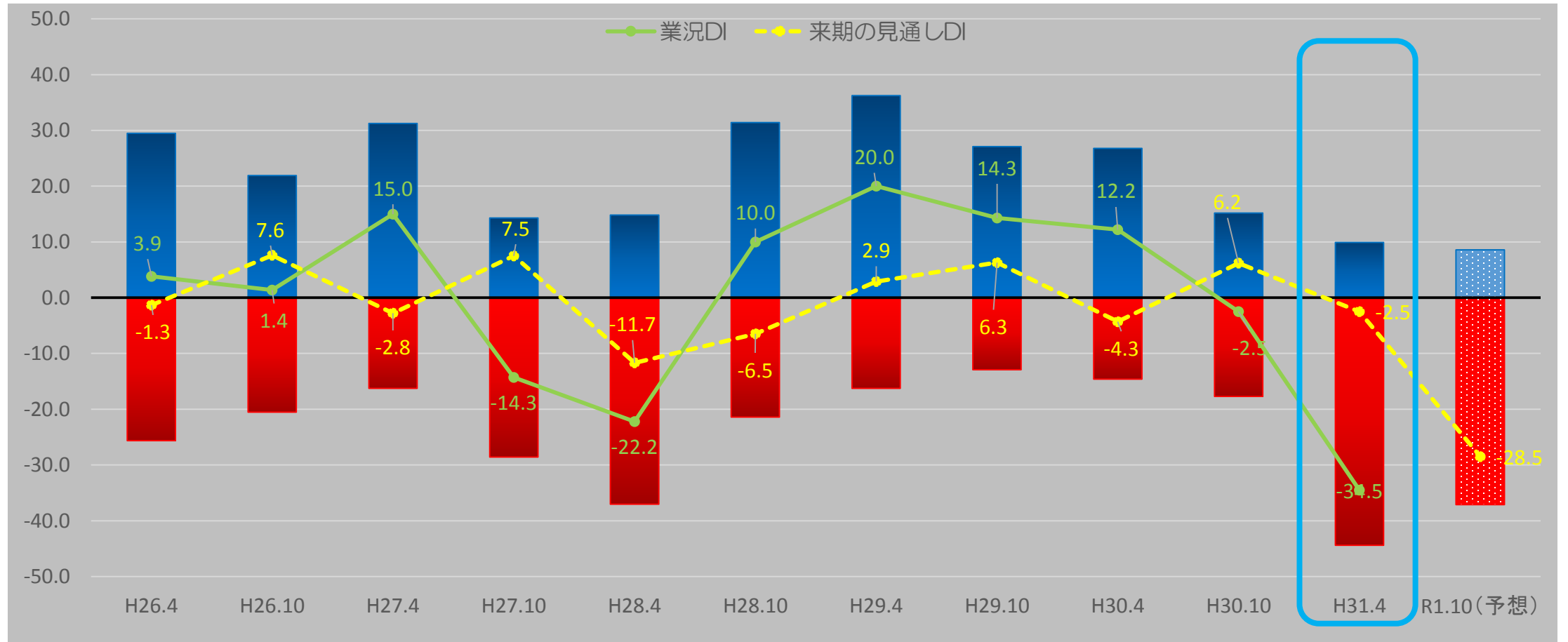
業況は前期(6ヶ月前)と比べて悪化とした企業が増加し、業況DIは前期に引き続き2期連続のマイナス水準となりました。マイナス幅も拡大し、業種別の業況DIを見ても鋳造を除く全ての業種でマイナス水準となっています。その背景には、米中貿易摩擦の影響があると感じている企業が多く、これが主な原因の一つとして考えられます。

《来期の見通し》

来期(6ヵ月後)の見通しは、業況、生産額、受注額、収益等でマイナスの数値となっています。今期に比べればマイナス幅は縮小すると予想されていますが先行きの不透明感に対する警戒感が窺えます。

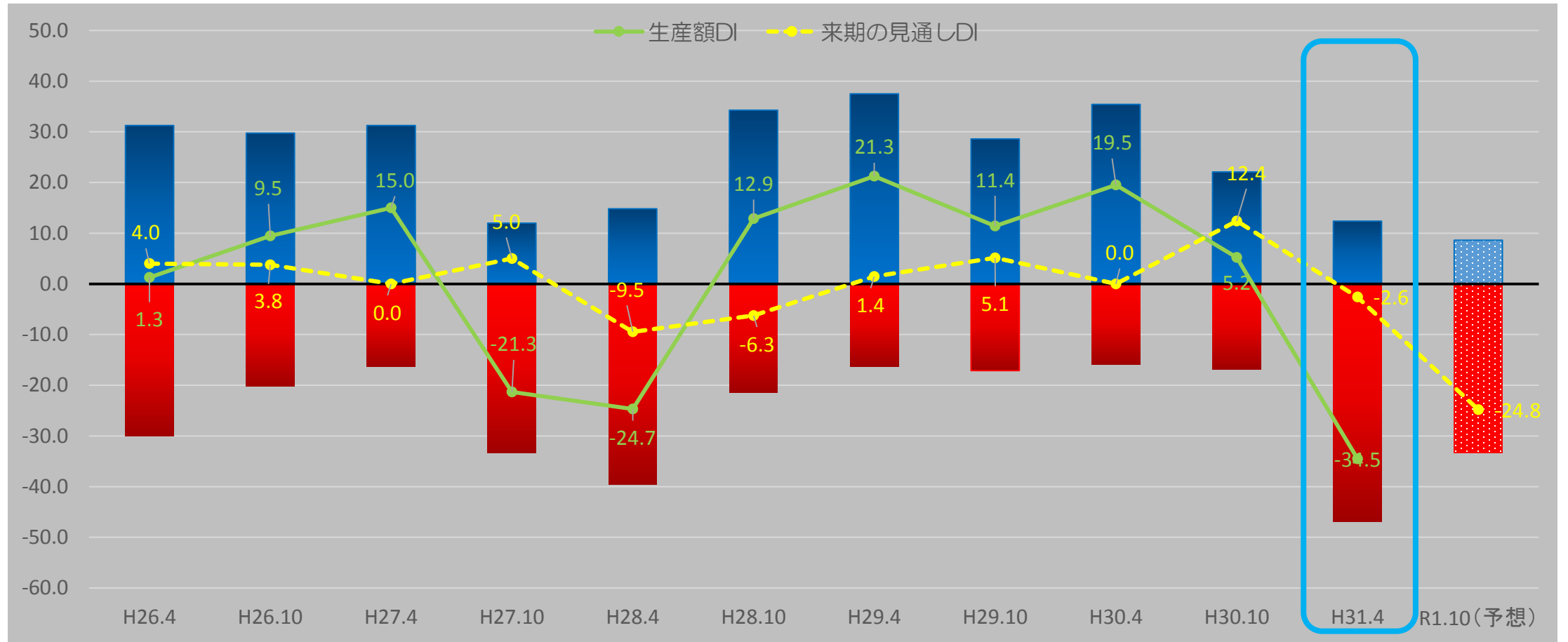
※棒グラフのプラス側は好転(増加、上昇、余裕)の企業の割合、マイナス側は悪化(減少、低下、窮屈)の企業の割合です。折れ線グラフ(DI)は好転(増加、上昇、余裕)の企業の割合から悪化(減少、低下、窮屈)の企業の割合を引いた差です。折れ線グラフ(来期の見通し)は調査時の来期(6ヵ月後)のDI値です。

①業況DI【前期(6ヶ月前)に比べて】



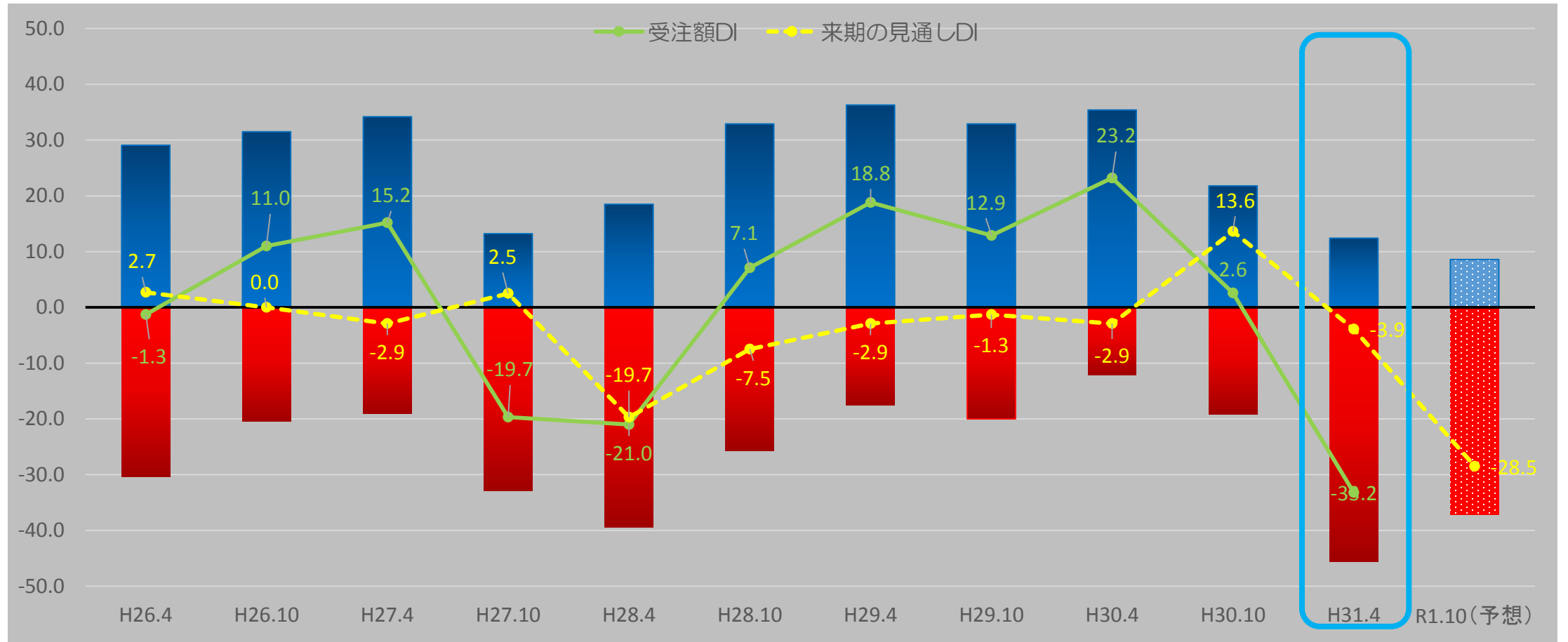
前期と比べたDIは▲34.5ポイントとなり、前期の▲2.5ポイントより32.0ポイント悪化しました。
 また、来期の見通しDIは、▲28.5ポイントとなり、前期の▲2.5ポイントより26.0ポイント悪化しました。

②生産額DI【前期(6ヶ月前)に比べて】



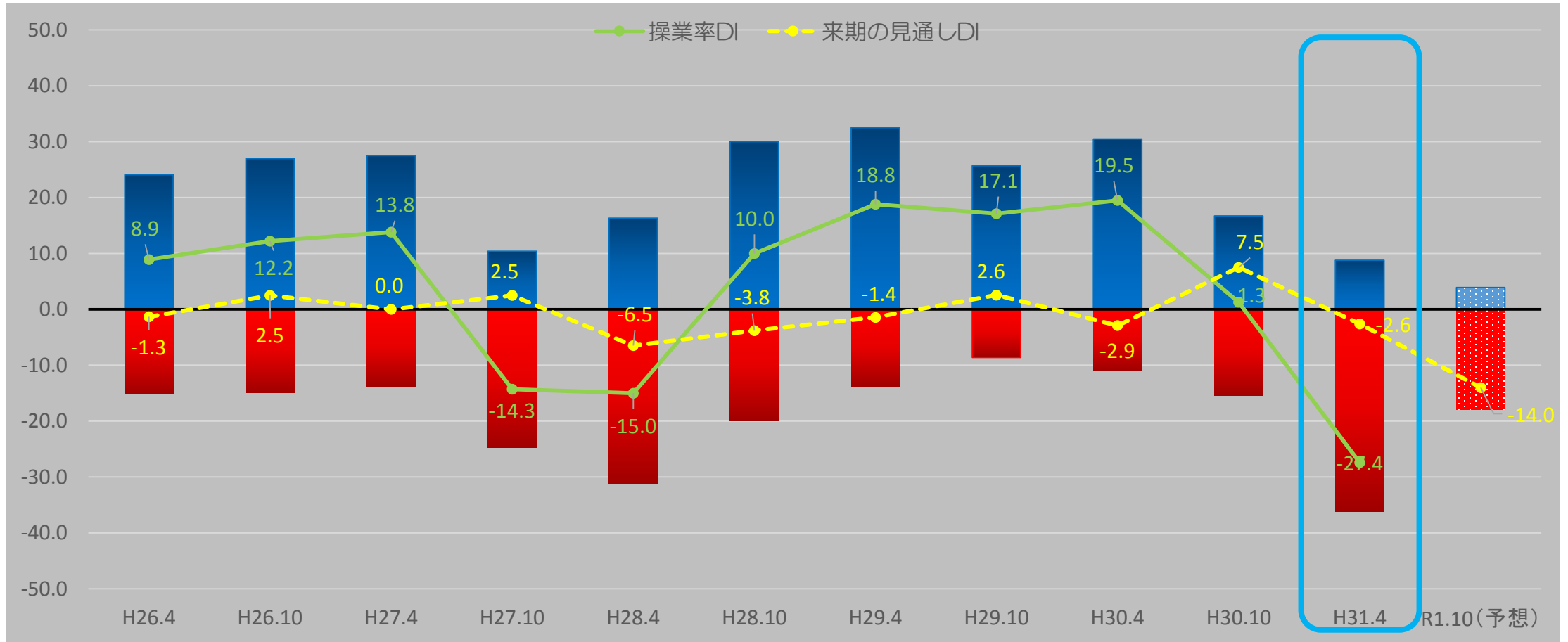
前期と比べたDIは、▲34.5ポイントとなり、前期の5.2ポイントより39.7ポイント減少しました。
 また、来期の見通しDIは、▲24.8ポイントとなり、前期の▲2.6ポイントより22.2ポイント減少しました。

③受注額DI【前期(6ヶ月前)に比べて】



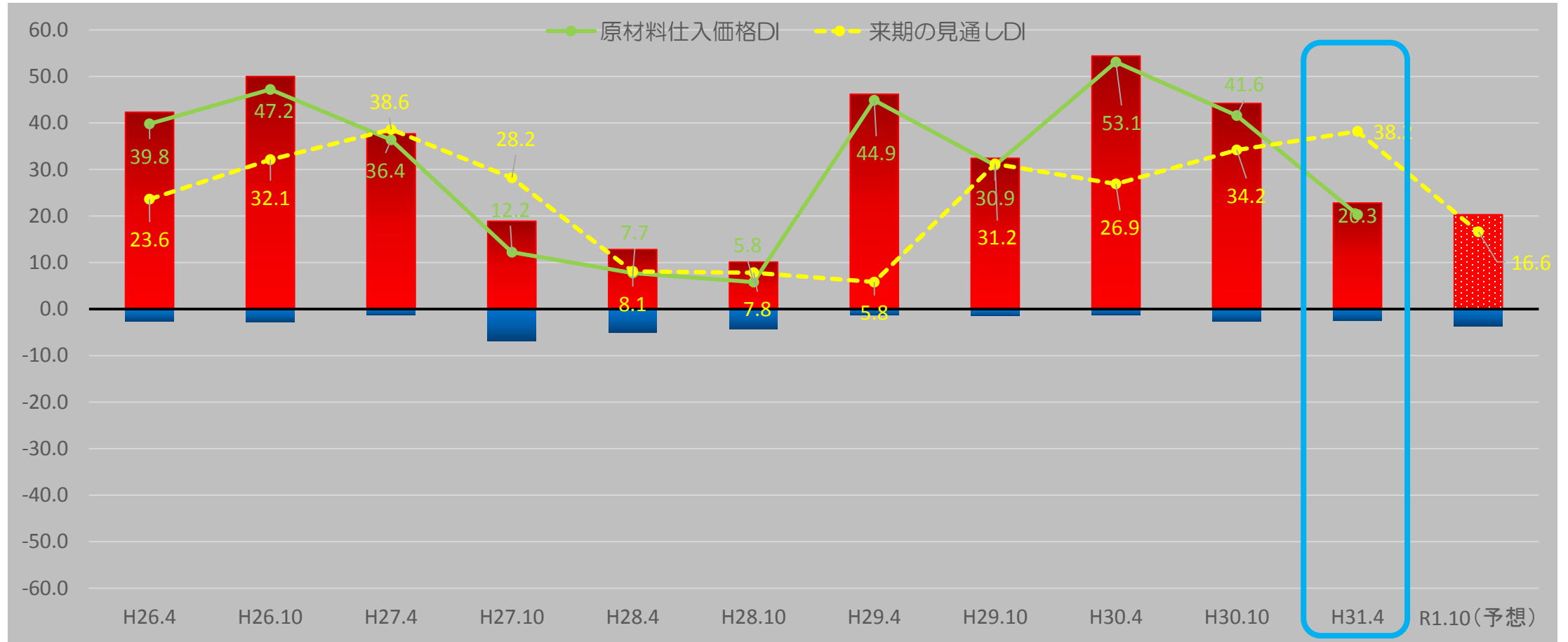
前期と比べたDIは▲33. 2ポイントとなり、前期の2. 6ポイントより35. 8ポイント減少しました。
 また、来期の見通しDIは、▲28. 5ポイントとなり、前期の▲3. 9ポイントより24. 6ポイント減少しました。

④ 操業率DI【前期(6ヶ月前)に比べて】



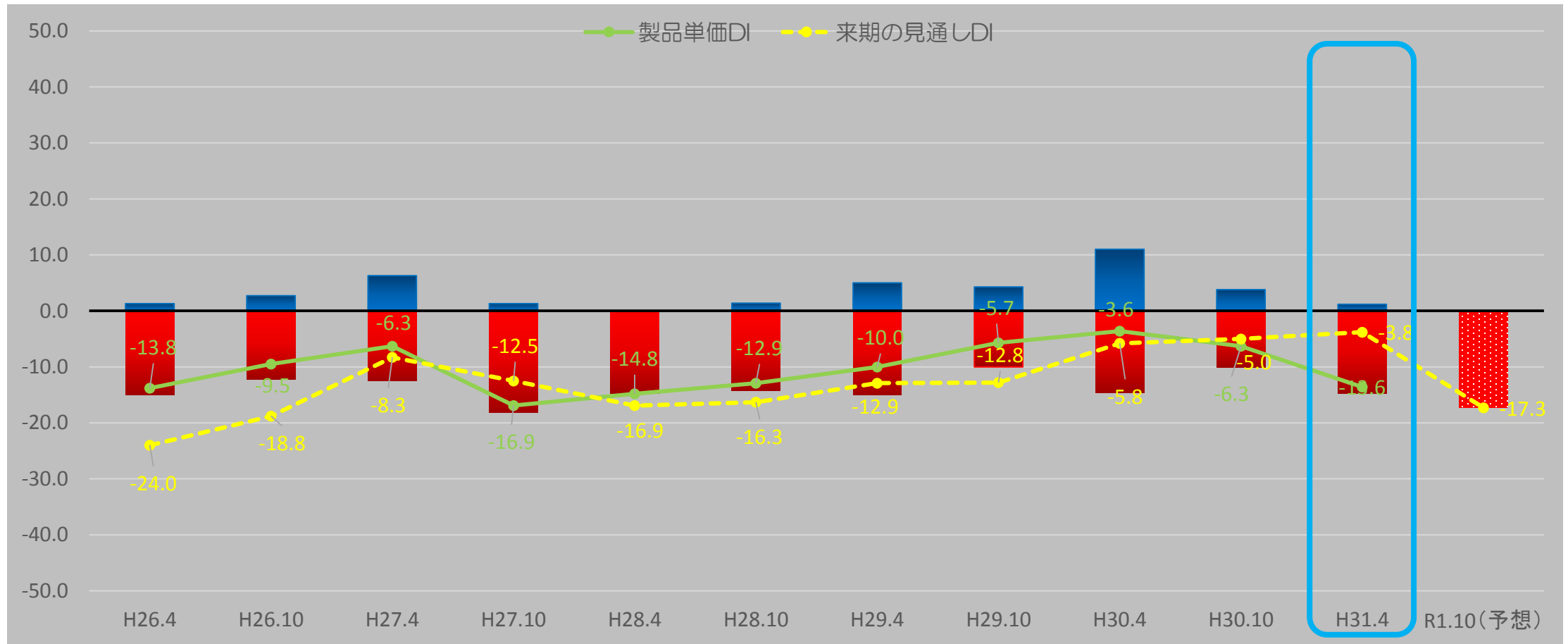
前期と比べたDIは、▲27.4ポイントとなり、前期の1.3ポイントより28.7ポイント低下しました。
 また、来期の見通しDIは、▲14.0ポイントとなり、前期の▲2.6ポイントより11.4ポイント低下しました。

⑤原材料仕入価格DI【前期(6ヶ月前)に比べて】



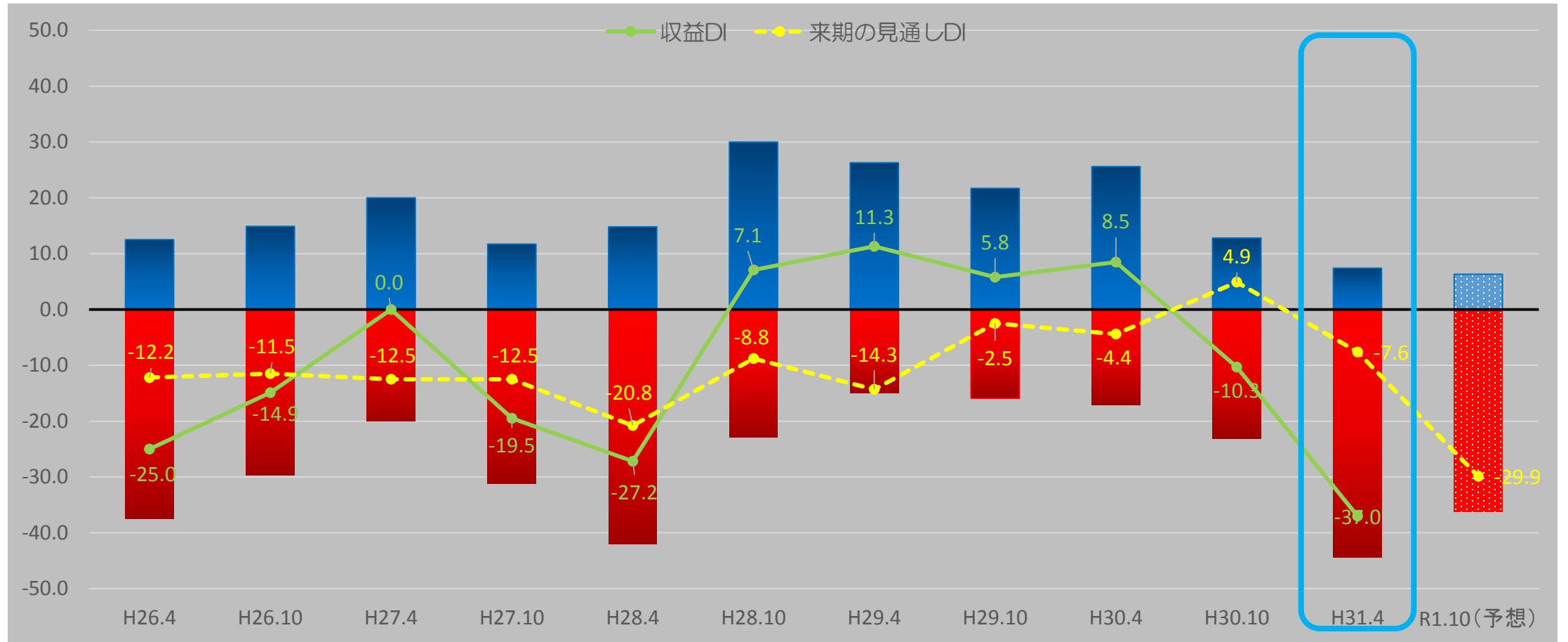
前期と比べたDIは、20.3ポイントとなり、前期の41.6ポイントより21.3ポイント低下しました。
 また、来期の見通しDIは、16.6ポイントとなり、前期の38.2ポイントより21.6ポイント低下しました。

⑥製品単価DI【前期(6ヶ月前)に比べて】



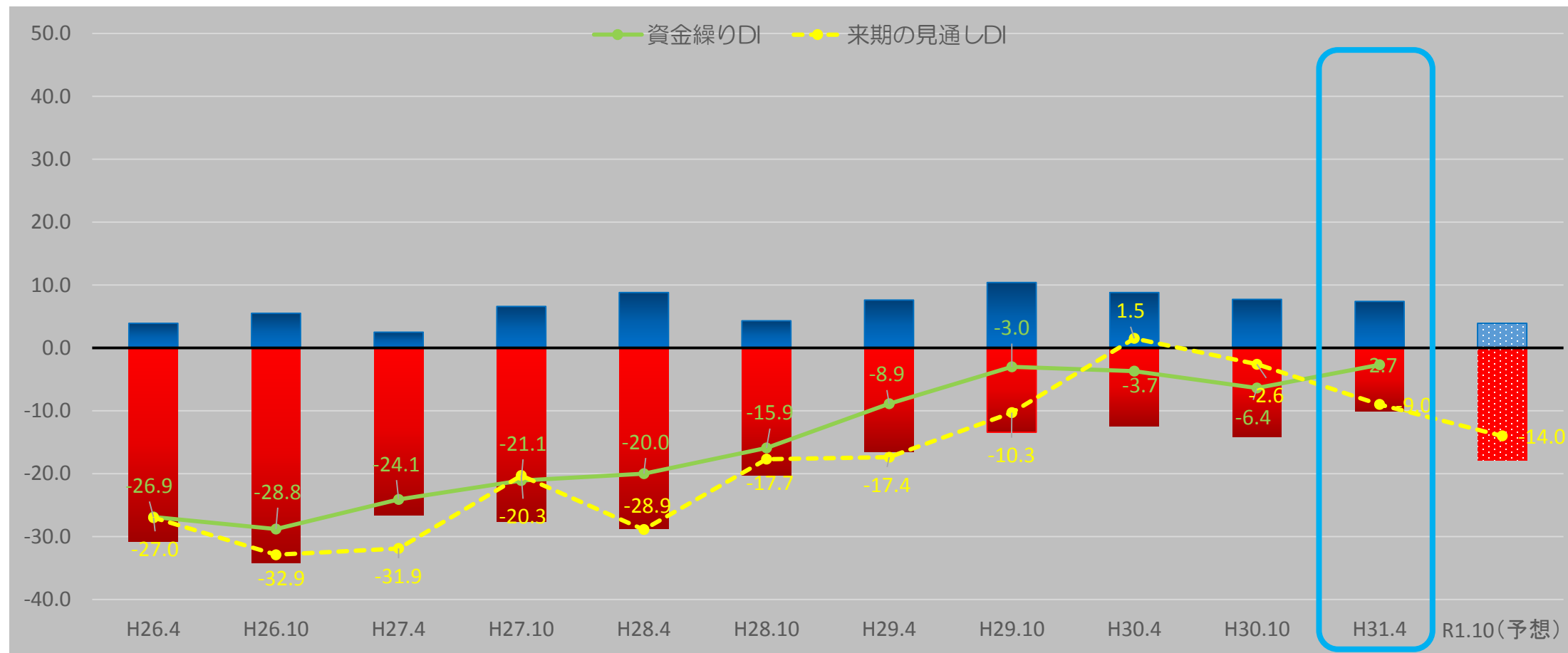
前期と比べたDIは、▲13.6ポイントとなり、前期の▲6.3ポイントより7.3ポイント低下しました。
また、来期の見通しDIは、▲17.3ポイントとなり、前期の▲3.8ポイントより13.5ポイント低下しました。

⑦収益DI【前期(6ヶ月前)に比べて】



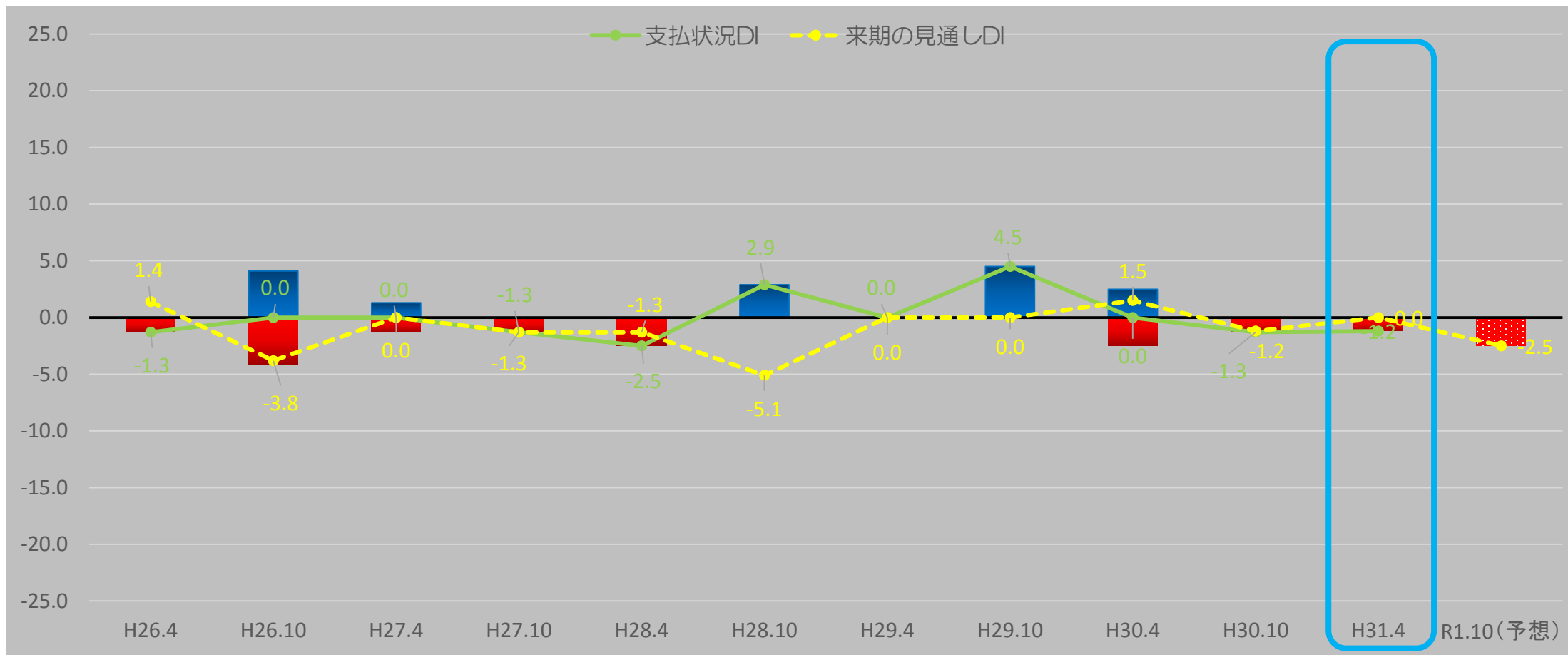
前期と比べたDIは、▲37.0ポイントとなり、前期の▲10.3ポイントより26.7ポイント減少しました。
 また、来期の見通しDIは、▲29.9ポイントとなり、前期の▲7.6ポイントより22.3ポイント減少しました。

⑧資金繰りDI【前期(6ヶ月前)に比べて】



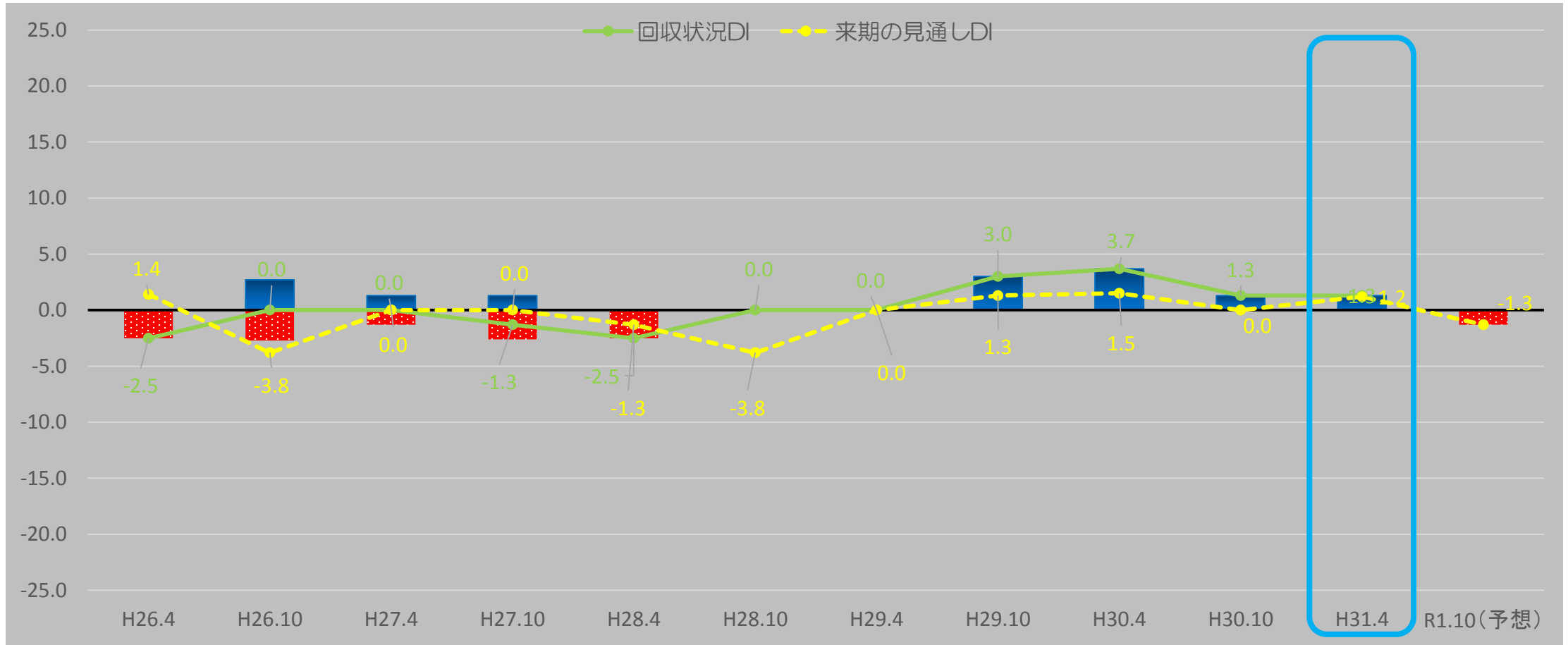
前期と比べたDIは、▲2.7ポイントとなり、前期の▲6.4ポイントより3.7ポイント上昇しました。
また、来期の見通しDIは、▲14.0ポイントとなり、前期の▲9.0ポイントより5.0ポイント低下しました。

⑨支払状況DI【前期(6ヶ月前)に比べて】



前期と比べたDIは、▲1. 2ポイントとなり、前期の▲1. 3ポイントより0. 1ポイント上昇しました。
 また、来期の見通しDIは、▲2. 5ポイントとなり、前期の0. 0ポイントより2. 5ポイント悪化しました。

⑩回収状況DI【前期(6ヶ月前)に比べて】



前期と比べたDIは、1. 3ポイントで前期と同じポイントとなりました。

また、来期の見通しDIは、▲1. 3ポイントとなり、前期の1. 2ポイントより2. 5ポイント悪化しました。

⑪ 今期の業種別業況DI

	精密	機械	電気	計量	表面処理	鋳造
前期に比して	▲30.0	▲41.7	▲16.7	▲42.9	▲50.0	0.0
前年同期に比して	▲22.6	▲45.8	▲16.7	▲14.3	▲50.0	0.0

⑫経営上の問題点(複数回答)

項目	今期(H31. 4)			前期(H30. 10)			順位 変動	前期比 (ポイント)
	回答数	回答 割合	順位	回答数	回答 割合	順位		
人手不足・求人難	41社／82社	50.0%	①	45社／79社	57.0%	①	→	▲7.0
生産・売上・受注の伸び悩み	37社／82社	45.1%	②	25社／79社	31.6%	④	↑	13.5
設備の狭小・老朽化	30社／82社	36.6%	③	32社／79社	40.5%	②	↓	▲3.9
製品・加工賃の料金安	15社／82社	18.3%	④	23社／79社	29.1%	⑤	↑	▲10.8
原材料等の価格の上昇	15社／82社	18.3%	④	27社／79社	34.2%	③	↓	▲15.9
競争の激化	13社／82社	15.9%	⑥	11社／79社	13.9%	⑥	→	2.0

前期に続き、「人手不足・求人難」が最も多い状況となっています。「生産・売上・受注の伸び悩み」は前期より13.5ポイント増加し、「原材料等の価格の上昇」は前期より15.9ポイント減少しています。

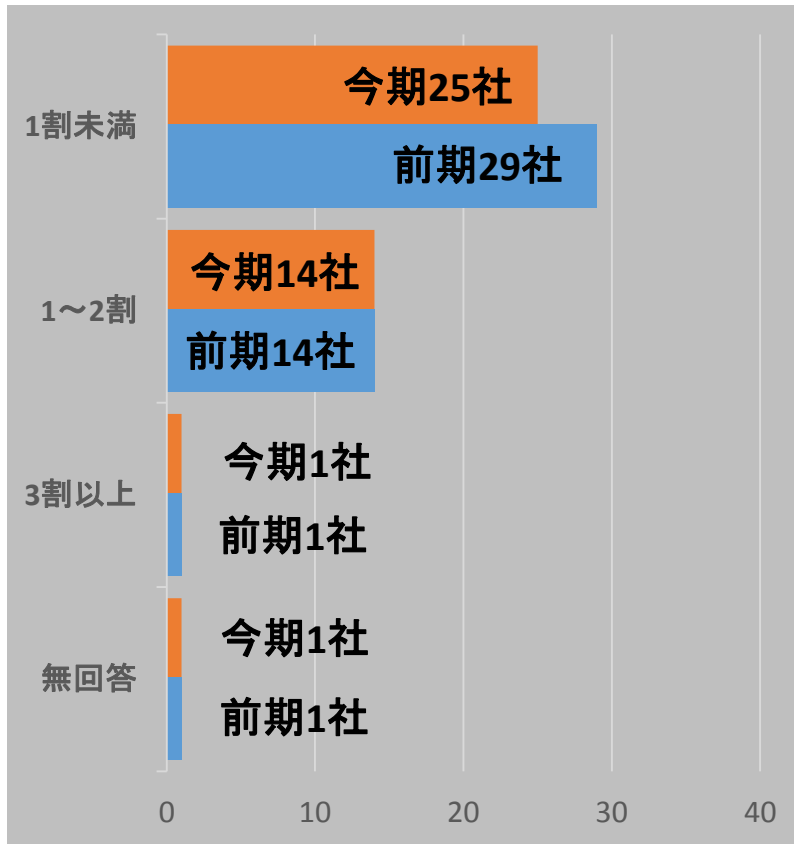
※○数字は、回答数による順位

⑬ 人手不足・求人難について

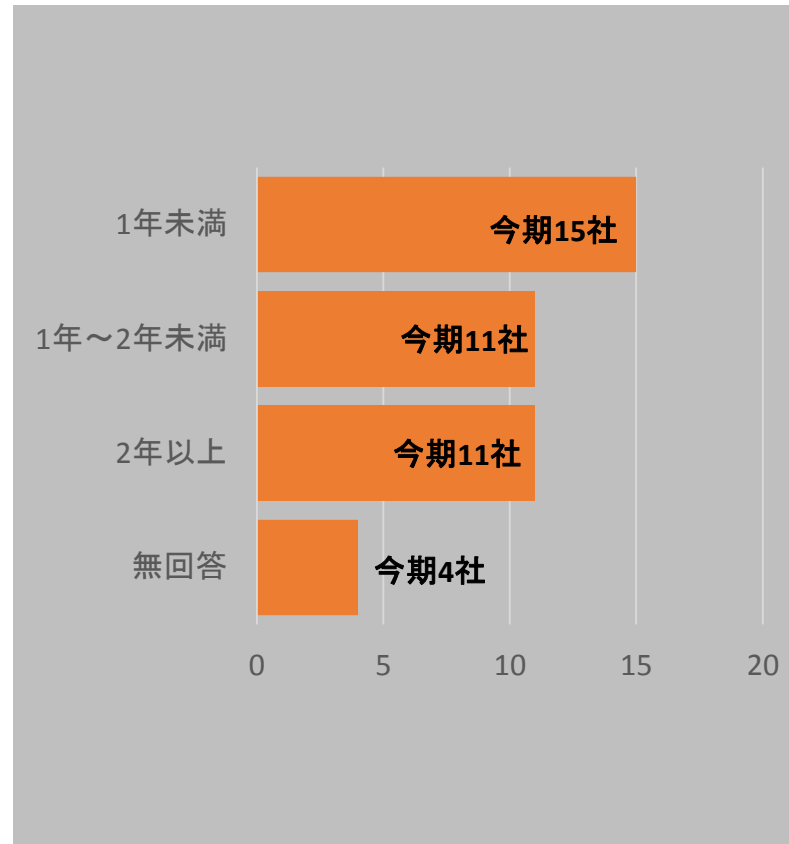
(⑫経営上の問題点にて【人手不足・求人難】を答えた企業を対象)

回答企業数: 41社
(前期: 45社)

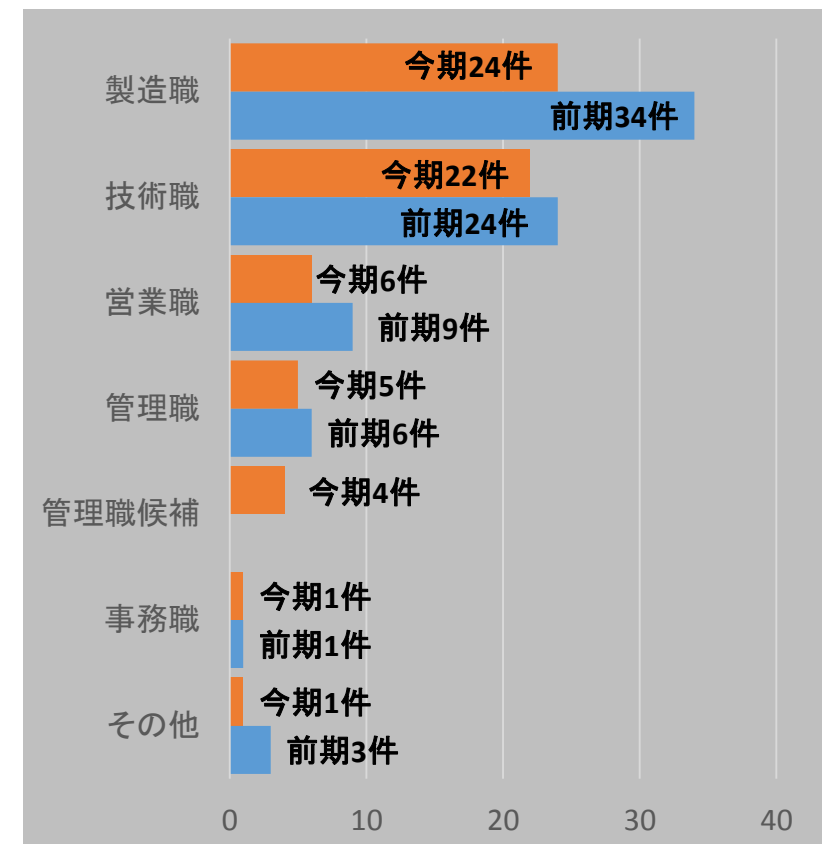
・現在の従業員数に対する不足割合 (社数)



・不足している期間 (社数)



・不足している職種(複数回答) (件数)



⑫経営上の問題点にて【人手不足・求人難】を答えた41社の内、現在の従業員数に対する不足割合を、25社が「1割未満」、14社が「1~2割」、1社が「3割以上」と回答しています。不足している期間は、15社が「1年未満」、11社が「1年~2年未満」、11社が「2年以上」と回答しています。また、不足している職種は「製造職」で24件、「技術職」で22件の順となっています。

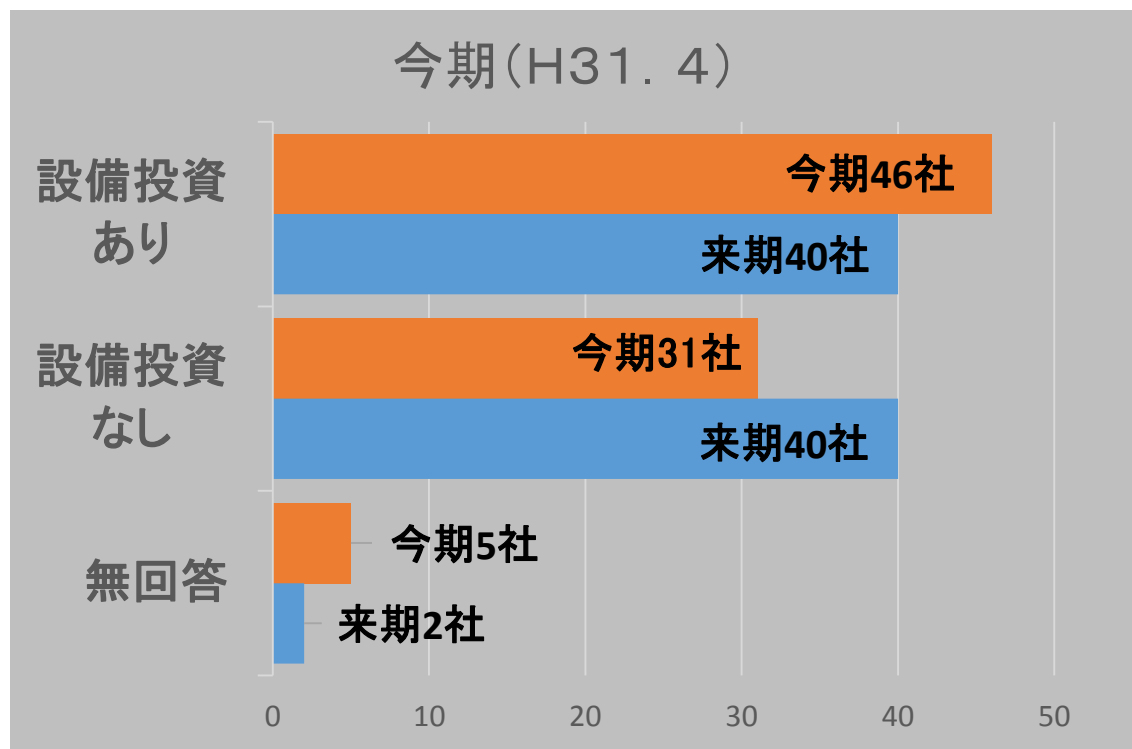
※「不足している期間」と「不足している職種」の管理職候補(項目)は今期より新たに追加した設問と項目です。

調査企業数: 82社
(前期: 79社)

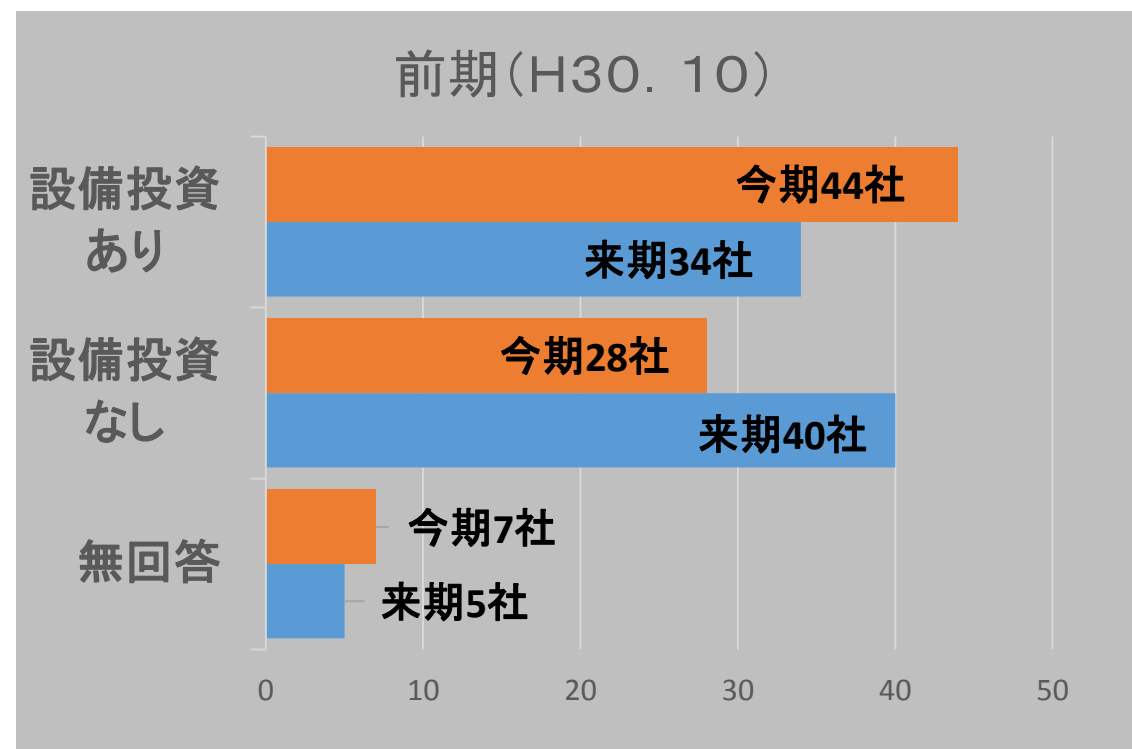
⑭設備の狭小・老朽化について

・設備投資の状況について

(社数)



(社数)



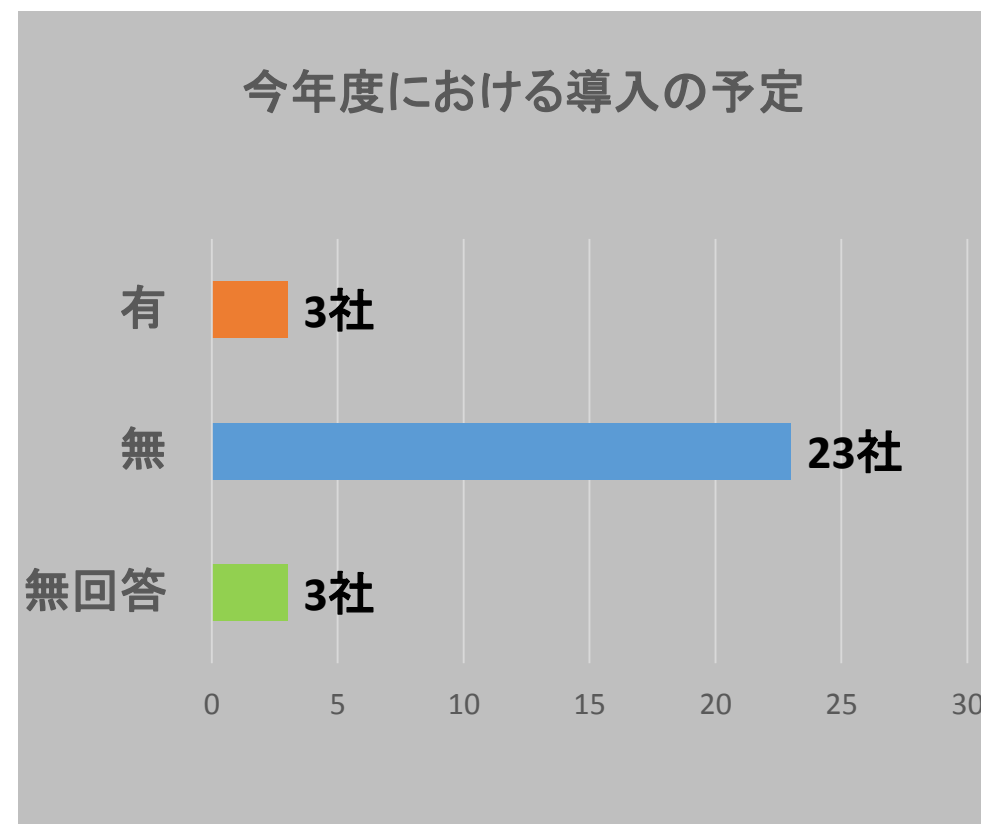
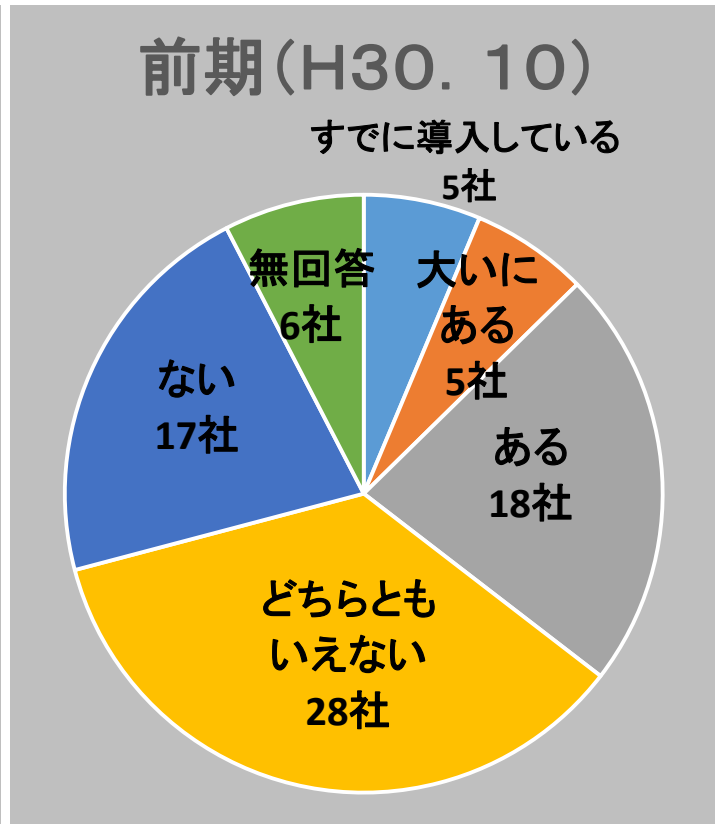
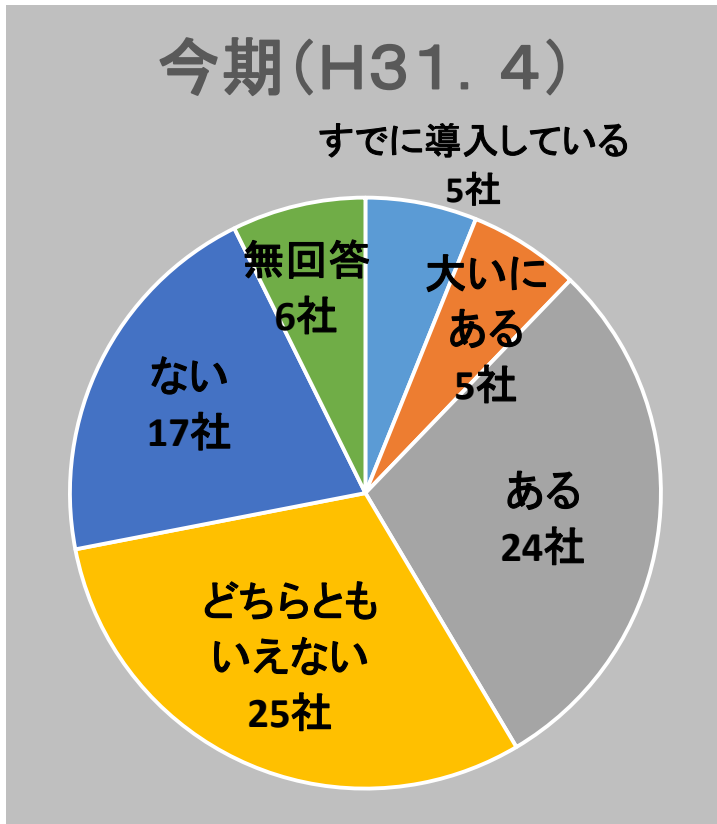
⑫経営上の問題点において、「設備の狭小・老朽化について」に対する各企業の取り組みで、設備投資を行っている(計画している)と回答した企業が、今期46社 来期40社となっています。

⑮IoT(モノのインターネット)の導入への興味

調査企業数: 今期82社
(前期79社)

(社数)

・大いにある又はあると答えた29社の内 (社数)



IoTの導入への興味において、「すでに導入している」と回答した企業は、5社あり、「大いにある(5社)・ある(24社)」と回答した企業は、29社で、その内の3社が今年度において、IoTの導入を予定しています。